

消 防 年 報

令和4年（2022年）



萩市消防本部

令和5年5月刊行

目 次

1 地 勢

地 勢	・ ・ ・ 1
-----	---------

2 萩消防のあゆみ

沿 革	・ ・ ・ 2
歴代消防長	・ ・ ・ 8
歴代消防団長	・ ・ ・ 9

3 総務関係

消防本部・消防署の現況	・ ・ ・ 1 0
萩市一般会計当初予算と消防費当初予算	・ ・ ・ 1 1
消防本部組織図	・ ・ ・ 1 2
消防職員の現況	・ ・ ・ 1 3

4 警防関係

現有消防車両等（常備消防）	・ ・ ・ 1 4
消防水利	・ ・ ・ 1 5

5 火災関係

火災概要	・ ・ ・ 1 6
令和 4 年の火災発生状況	
火災発生件数と損害額	・ ・ ・ 1 6
火災発生件数（月別）、地域別火災発生件数、建物焼損棟数（月別）	・ ・ ・ 1 7
焼損面積（月別）、り災世帯・り災人員（月別）、損害額（月別）	・ ・ ・ 1 8
火災原因別出火件数、過去 5 年の主な火災原因別出火件数、過去 5 年の火災状況	・ ・ ・ 1 9
時間別火災発生件数、過去 5 年の時間別火災発生件数、過去 1 0 年の火災件数と死傷者数	・ ・ ・ 2 0

6 救急関係

救急概要	・ ・ ・ 2 1
救急出動件数と種別の割合	・ ・ ・ 2 1
令和 4 年月別救急出動件数と搬送人員	・ ・ ・ 2 2
令和 4 年地域別救急状況	・ ・ ・ 2 3
令和 4 年傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ 2 3
令和 4 年事故種別・年齢区分別搬送人員	・ ・ ・ 2 4
令和 4 年医療機関別搬送人員	・ ・ ・ 2 4
過去 5 年の管轄内・管轄外搬送状況	・ ・ ・ 2 5
過去 5 年のドクターヘリ出動実績	・ ・ ・ 2 5
過去 5 年の救急状況	・ ・ ・ 2 6
救急出動状況の推移	・ ・ ・ 2 6
心肺蘇生法及び普通救命講習等受講状況	・ ・ ・ 2 7

7 救助関係

救助概要	・ ・ ・ 2 9
令和 4 年救助出動件数	・ ・ ・ 2 9
令和 4 年地域別救助活動状況	・ ・ ・ 3 0
過去 5 年の救助活動状況	・ ・ ・ 3 0
救助活動用機械器具等の保有状況	・ ・ ・ 3 1

8 予防関係

防火対象物数（消防法第 1 7 条第 1 項該当）及び査察実施状況	・ ・ ・ 3 2
中高層建築物（4 階以上）	・ ・ ・ 3 3
講習等実施状況	・ ・ ・ 3 4
危険物規制対象物	・ ・ ・ 3 4
危険物製造所等の事務処理状況	・ ・ ・ 3 4
危険物製造所等立入検査状況	・ ・ ・ 3 4

9 消防団関係

消防団組織表	・ ・ ・ 3 5
消防団の概要	・ ・ ・ 3 7
階級別団員数、団員の在職年数、年齢別団員数、団員年報酬、団員出動報酬	
消防団活動状況	・ ・ ・ 3 7

1 地 勢

<地勢>

萩市は、山口県の北部に位置し、総面積は 698.31 k m²で、県土の 11.4%を占めます。北部は日本海に面し、東部は益田市及び津和野町（島根県）、南東部は山口市、西部は長門市及び美祢市に接しています。

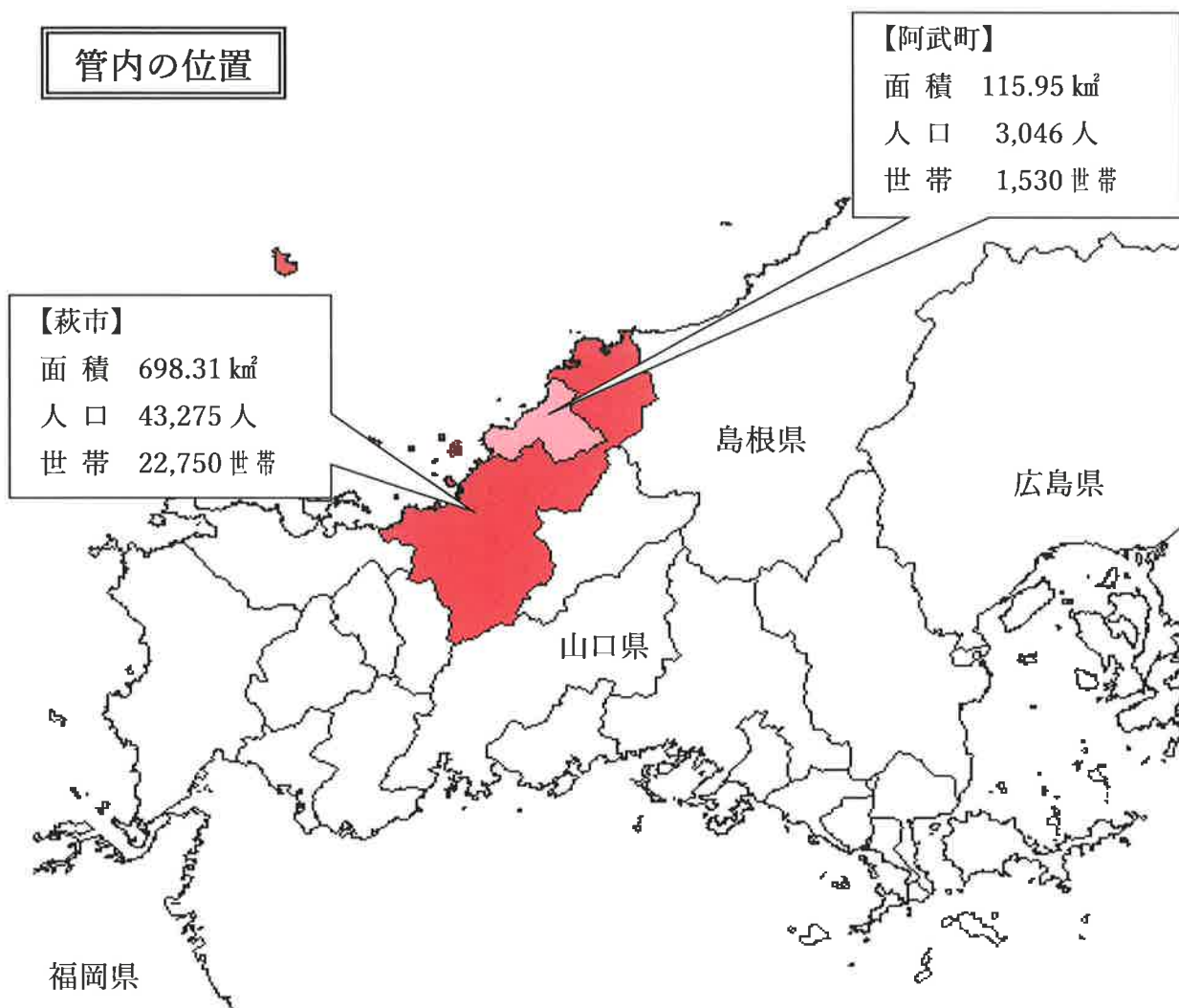
地形は、全体として東部の中国山地から北西部の日本海に向かう傾斜地で、南部市境界付近に標高 700mを超える山々が連なっています。低地は少なく、二級河川阿武川河口部に形成された三角州にある市街地とその周辺地に見られる丘陵地は、田万川地域から須佐地域にかけての臨海部に比較的なだらかに広がっている程度で、大半を山地が占めています。

日本海の沖あいには、大島、相島、櫃島、羽島、肥島、尾島の六つの平らな火山島が浮かび、約 45 km先には見島があります。そのうち見島、大島、相島、櫃島は有人島で、市全体の海岸線延長は約 151km です。

気候は、沿岸部においては対馬海流の影響を受けて比較的温暖であり、中山間部においては盆地特有の気候で、変化に富んだ豊かな自然環境を有しています。

なお、当市は阿武郡阿武町から常備消防に関する事務を受託しており、当消防本部の管轄区域は、両市町を合わせ人口 46,321 人、世帯数 24,280 世帯、面積 814.26 km²となっています。

管内の位置



令和 5 年 4 月 1 日現在

2 萩消防のあゆみ

<沿革>

年 月 日	記 事
万治 4 年（寛文元年） （1661 年）	「火消条々」を含む『万治制法』制定
享保 9 年（1724 年）	町ごとに仮小屋の辻番所を設け、端坊の時鐘の上に望火楼を設けて火消組を常勤させる。
寛保元年（1741 年）	橋本川・松本川の洪水に際して、萩城下町人の出動についての規定を布達する。
天保 12 年（1841 年）	71 箇所あった辻番所を 22 箇所に削減し、回番所と改称する。 松原口・松本橋本番所口番所・中渡・鶴江台に鐘楼を設ける。
明治 27 年 10 月 27 日 （1894 年）	勅令「消防組規則」・県令「消防組施行細則」が制定され、町会において「巴城消防組設置諮問案」が可決される。
明治 43 年 8 月 29 日 （1910 年）	町会において、巴城消防組を「萩町消防組」と改称することを可決する。
明治 44 年 3 月 20 日	萩町消防組を第一部（新堀川以南）と第二部（新堀川以北）に分ける。 山田村消防組が知事より許可され、公設消防組となる。
大正 8 年 2 月 27 日 （1919）	消防手 58 名を 96 名に増員し、制服を洋服式から法被式に改め、消防器具を増強
大正 10 年 6 月 2 日	萩町水防準備細則が制定
大正 11 年 12 月 11 日	萩消防後援会（会長：菊屋剛十郎）が蒸気唧筒 2 台を寄付
大正 12 年 12 月 23 日	萩町消防組を第一部・第二部・第三部（大字山田村）に分ける。
大正 13 年 2 月 29 日	萩町消防組に小畑浦私設消防組を合同編入し、第四部を設置
大正 15 年 8 月 30 日	出動合図がモーターサイレンとなる。
昭和 4 年 10 月 24 日	萩町水防組規定が制定
昭和 7 年 8 月 27 日	萩公設消防組がレオ市原式自動車ポンプ 1 台を萩市へ寄付
昭和 11 年 3 月 7 日	萩市消防組を本部・第一部・第二部・第三部・第四部（大字椿東村）に分ける。
昭和 14 年 4 月 1 日	警防団令が公布され、萩市警防団が設置されて消防組・水防組及び防護団は解散
昭和 22 年 10 月 1 日	萩市消防団設置条例が制定され、萩市警防団を改組し、新たに萩市消防団が組織され、団本部と 9 個分団・団員 500 名となる。
昭和 24 年 7 月 1 日	萩市消防本部設置条例が制定され、市役所内に萩市消防本部を設置される。この年、萩市危険物取締条例及び萩市火災予防条例が制定される。
昭和 27 年 6 月 1 日	消防団を 11 個分団とし、団員 280 名となる。
昭和 29 年 3 月 30 日	萩市大字江向 431 番地に消防庁舎が新築される。
昭和 30 年 3 月 1 日	市町村合併（三見村・大井村・六島村・見島村）により消防団を 16 個分団とし、団員 655 名となる。

昭和 32 年 7 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、2 係（消防係・予防査察係）とし、消防職員 4 名となる。
昭和 33 年 4 月 1 日	消防団を 19 個分団とし、団員 534 名となる。
昭和 36 年 2 月 15 日	日本消防協会長から萩市消防団に表彰旗を授与される。
昭和 40 年 2 月 10 日	常備消防開設に伴い消防庁舎を増築し、萩市消防本部の機構改革により、2 課 4 係（庶務課：庶務係）（予防課：予防係・消防係・調査係）とし、職員 13 名となる。
昭和 40 年 4 月 1 日	萩市消防署開設。水槽付ポンプ自動車 1 台、消防ポンプ自動車 1 台、小型動力ポンプ 1 台が設置され、職員 30 名となる。
昭和 41 年 3 月 7 日	昭和 40 年 7 月の集中豪雨による活動に対し、山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に表彰状が授与される。
昭和 41 年 4 月 1 日	消防団員の定員を 444 名に改める。
昭和 43 年 5 月 1 日	救急業務が開始され、救急車 1 台を配備し、職員 3 名が増員
昭和 51 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
昭和 51 年 3 月 20 日	山口県生命建物共済農業協同組合連合会長、萩市・見島・三見・大井各農業共同組合長が救急車 1 台を寄贈
昭和 51 年 4 月 1 日	1 町 4 村（阿武町・旭村・川上村・福栄村・むつみ村）から救急委託を受け、広域救急業務を開始。職員 6 名を増員し、総員 39 名となる。
昭和 52 年 2 月 18 日	社団法人日本自動車工業会が救急車 1 台を寄贈
昭和 52 年 3 月 4 日	消防庁長官から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
昭和 52 年 9 月 5 日	東京海上火災保険株式会社が広報車 1 台を寄贈
昭和 56 年 2 月 11 日	日本消防協会長から萩市消防団に最高栄誉賞まといが授与される。
昭和 56 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に表彰旗が授与される。
昭和 57 年 9 月 21 日	日本消防協会が指令広報車 1 台を寄贈
昭和 57 年 12 月 15 日	消防署に車庫を新築する。（鉄骨スレート葺き 57.35 m ² ）
昭和 58 年 2 月 15 日	中高層建築物の災害対策として、はしご付消防自動車(35m 級)を配置し、職員 4 名が増員
昭和 58 年 3 月 3 日	消防庁長官から萩市消防本部・萩市消防団に表彰旗が授与される。
昭和 59 年 10 月 23 日	社団法人日本損害保険協会が救助工作車 1 台を寄贈
昭和 60 年 10 月 1 日	消防テレフォンサービス（25 - 7474）を開設
昭和 61 年 11 月 13 日	財団法人萩交通安全事業普及協会が広報車 1 台を寄贈
昭和 62 年 3 月 4 日	社団法人日本損害保険協会が救急車 1 台を寄贈
昭和 62 年 6 月 22 日	財団法人日本防火協会が防火広報車 1 台を寄贈
平成 2 年 1 月 11 日	山口県生命建物共済農業協同組合連合会長他農業共同組合長が救急車 1 台を寄贈
平成 4 年 10 月 1 日	衛星通信ネットワークが開設
平成 5 年 2 月 15 日	水槽付消防ポンプ自動車を更新
平成 5 年 3 月 7 日	山口県知事から萩市消防本部・萩市消防団に竿頭綬が授与される。
平成 6 年 10 月 25 日	指令広報車を更新

平成 6 年 11 月 1 日	C A T Vを利用しての緊急情報システムを導入
平成 7 年 11 月 15 日	救急救命士国家試験に合格（1 人目）
平成 8 年 7 月 26 日	萩市総合防災訓練を実施
平成 9 年 3 月 10 日	高規格救急自動車及び救急資器材を購入
平成 9 年 4 月 1 日	高度救急業務を開始
平成 11 年 5 月 1 日	萩市防災メールによる火災情報配信を開始
平成 11 年 11 月 15 日	消防庁舎が新築され、竣工式を行う。
平成 12 年 4 月 1 日	1 市 3 町 4 村の常備消防化のため、萩市消防本部を廃止し、萩地区広域市町村圏組合消防本部が発足し、消防職員定数が 77 名となる。新規に消防職員を 12 名採用し、現有人員 59 名となる。 萩地区広域市町村圏組合消防本部の機構改革により、3 課 1 室 5 係（総務課：庶務係・会計係）（予防課：予防 1 係・予防 2 係）（警防課：通信指令室・警防係）とする。
平成 13 年 3 月 9 日	弥富出張所配備の高規格救急自動車及び救急資器材を購入
平成 13 年 3 月 19 日	弥富出張所用の指令広報車を購入
平成 13 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署弥富出張所を開設、高規格救急車 1 台を配備して須佐町・田万川町の救急業務を開始する。新規に消防職員 12 名を採用し、現有人員 68 名となる。 萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、3 小隊とする。
平成 13 年 8 月 30 日	山口県総合防災訓練 in 萩を河添河川公園で実施
平成 14 年 3 月 14 日	山之内製薬株式会社が高規格救急車 1 台を寄贈。救急資器材を購入。
平成 14 年 3 月 20 日	紫福分遣所用の指令広報車を購入
平成 14 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署紫福分遣所を開設し、高規格救急車を 1 台配備する。それに伴い、救急出動範囲を一部変更する。新規に消防職員 9 名を採用し、現有人員が条例定数の 77 名となる。 萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、4 小隊とする。
平成 14 年 6 月 24 日	指令広報車及び防火広報車を更新
平成 14 年 7 月 24 日	積載車を更新
平成 14 年 11 月 28 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 14 年 12 月 27 日	弥富出張所にポンプ車及び警防資器材を購入
平成 15 年 3 月 28 日	弥富出張所一部増築（ホース乾燥台等）
平成 15 年 4 月 1 日	萩消防署弥富出張所に消防ポンプ自動車 1 台を配備し、管内北部地区の消防業務を開始。これに伴い、火災出動範囲を一部変更する。
平成 15 年 8 月 22 日	運搬車としてトラックを購入
平成 15 年 12 月 22 日	消防ポンプ自動車（C D－I 型）を更新
平成 16 年 3 月 10 日	化学消防ポンプ自動車（I 型）を購入
平成 16 年 4 月 1 日	萩地区広域市町村圏組合萩消防署の機構改革により、2 中隊各 3 小隊とする。
平成 16 年 11 月 25 日	救助工作車（II 型）を更新

平成 17 年 3 月 5 日	萩地区広域市町村圏組合解散
平成 17 年 3 月 6 日	市町村合併により新「萩市」が誕生し、新市への移行に伴い名称を萩市消防本部及び萩市消防署に変更する。 萩市消防本部の機構改革により、3 課 1 室 6 係（総務課：総務管理係・消防団係）（警防課：警防係・救急係・通信指令室）（予防課：予防 1 係・予防 2 係）とし、消防職員条例定数を 92 名とする。 現有人員が 81 名となる。 消防団も 7 市町村で合併。新「萩市消防団」が誕生する。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 55 分団とし、消防団員条例定数を 1,401 名とする。現有人員が 1,280 名となる。
平成 17 年 7 月 1 日	不特定多数の人が出入りするホテル・店舗等で救急事案が発生した場合、救急隊が到着するまでに適切な処置を取れる事業所を養成する「救急ステーション認定制度」を開始
平成 17 年 10 月 19 日	携帯電話からの 119 番通報が、分散受信方式（代表消防本部から管轄消防本部へ転送）から直接受信方式に移行する。
平成 17 年 12 月 14 日	日本テレコム・KDDI・NTT西日本 3 社による IP 電話が通信指令室に設置（IP 電話～インターネットを活用した電話サービス）
平成 18 年 4 月 1 日	新規消防職員 10 名を採用し、現有人員 88 名となる。
平成 18 年 5 月 31 日	気管挿管の認定を受ける。（1 人目）
平成 18 年 7 月 1 日	紫福分遣所に積載車を配備する。火災出動範囲を一部変更する。
平成 18 年 10 月 5 日	薬剤投与の認定を受ける。（1 人目）
平成 19 年 3 月	萩市国民保護計画策定
平成 19 年 4 月 1 日	萩市消防署佐々並分遣所を開設し、高規格救急車・指令車を各 1 台配備する。救急出動範囲を一部変更する。 萩市消防署の機構改革により 5 小隊とする。 佐々並分遣所で、萩市佐々並支所の夜間・休日業務の受託事務を開始する。
平成 19 年 4 月 1 日	液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の施行に関する事務を山口県から権限移譲を受け事務を開始する。
平成 19 年 4 月 1 日	予防技術資格者認定（6 名）
平成 20 年 2 月	萩市離島の消防力整備計画策定
平成 20 年 4 月 15 日	萩市、益田市、津和野町及び益田地区広域市町村圏組合広域消防相互応援協定を締結
平成 21 年 3 月	萩市消防本部における新型インフルエンザ対策のための業務継続計画策定
平成 21 年 4 月 1 日	萩市消防団協力事業所表示制度制定 新規消防職員 2 名を採用し、現有人員 86 名となる。
平成 21 年 11 月 16 日	萩市消防署に、35m 級はしご付消防自動車を更新する。

平成 22 年 4 月 1 日	萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 53 分団とする。
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生により、萩市消防本部から 5 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (3 月 14 日～3 月 22 日：宮城県石巻市)
平成 23 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 87 名となる。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 54 分団とする。 火薬類取締法及び武器等製造法に係る事務の一部を山口県から権限移譲を受け事務を開始する。
平成 24 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 90 名となる。 ガス事業法並びに石油液化ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に係る事務の一部を、地域主権推進一括法（第 2 次）により権限移譲を受け事務を開始する。
平成 24 年 12 月 1 日	萩市総合防災訓練を萩潟港多目的広場で実施
平成 25 年 2 月 14 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 25 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 92 名となる。 消防救急デジタル無線運用開始
平成 25 年 7 月 28 日	萩市東部集中豪雨災害が発生、須佐で観測史上最大の 1 時間の降水量が 138.5mm、また午前 9 時 20 分からの 3 時間雨量が 301.5mm を観測し、気象庁から「これまでに経験したことのないような大雨」と発表されるなど記録的な豪雨となり、須佐、田万川、むつみ地域で未曾有の災害となった。
平成 25 年 11 月 25 日	平成 25 年 7 月の萩市東部豪雨災害における功績により、萩市消防団が国土交通大臣表彰を受ける。
平成 26 年 2 月 24 日	水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新
平成 26 年 3 月 7 日	平成 25 年 7 月 26 日大雨災害における功績により、萩市消防団が山口県知事表彰を受ける。
平成 26 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有人員 90 名となる。
平成 26 年 8 月 28 日	広島市豪雨災害発生により、萩市消防本部から 3 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣(8 月 28 日～8 月 29 日：広島県広島市)
平成 26 年 9 月 1 日	平成 25 年 7 月の萩市東部豪雨災害における功績により、萩市消防団が内閣総理大臣表彰を受ける。
平成 26 年 11 月 11 日	平成 26 年 8 月 20 日の広島市豪雨災害における功績により、萩市消防本部が広島市長から感謝状を受ける。
平成 27 年 2 月 6 日	平成 26 年 8 月 20 日の広島豪雨土砂災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 27 年 3 月 5 日	高規格救急自動車及び救急資器材を更新
平成 27 年 4 月 1 日	新規消防職員 4 名を採用し、現有人員 91 名となる。
平成 27 年 11 月 6 日	通信指令施設（離島型）を更新、発信地表示・A V M・動画伝送機能追加
平成 28 年 3 月 9 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新

平成 28 年 3 月 28 日	指令広報車 1 台更新
平成 28 年 4 年 1 日	現有人員 90 名となる。
平成 28 年 4 月 16 日	熊本県地震発生により、萩市消防本部から 22 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (4 月 16 日～4 月 21 日：熊本県阿蘇市)
平成 29 年 2 月 8 日	平成 28 年熊本地震における功績により消防庁長官から賞状を受ける。
平成 29 年 2 月 20 日	指令広報車 1 台更新
平成 29 年 4 月 1 日	新規消防職員 3 名を採用し、現有人員 90 名となる。 萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 57 分団とする。
平成 29 年 7 月 6 日	九州北部豪雨災害発生により、萩市消防本部から 45 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 20 日：福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村)
平成 29 年 10 月 1 日	萩市消防団の機構改革により、1 団 7 本部 58 分団とする。
平成 29 年 12 月 26 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
平成 30 年 2 月 8 日	平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 30 年 2 月 23 日	指令広報車 1 台更新
平成 30 年 4 月 1 日	新規採用職員 2 名を採用し、現有人員 89 名となる。 消防団員条例定数を 1,244 名とする。
平成 30 年 7 月 6 日	平成 30 年 7 月豪雨災害発生により、萩市消防本部から 26 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 17 日：広島市及び安芸郡海田)
平成 30 年 12 月 11 日	公益財団法人日本消防協会が指揮指令車 1 台を寄贈（指揮指令車を更新）
平成 31 年 2 月 5 日	平成 30 年 7 月豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
平成 31 年 2 月 26 日	指令広報車 1 台更新
平成 31 年 4 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、萩市消防本部警防課通信指令室に指令第 1 係と指令第 2 係を配置し、萩市消防署を 6 小隊とする。 新規採用職員 2 名を採用し、現有人員 91 名となる。
令和 元年 12 月 26 日	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車 1 台を寄贈 (高規格救急自動車及び救急資器材を更新)
令和 2 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有職員 92 名となる。
令和 2 年 7 月 6 日	令和 2 年 7 月豪雨災害発生により、萩市消防本部から 56 名の隊員を緊急消防援助隊山口県隊に合流派遣 (7 月 6 日～7 月 11 日：熊本県八代市及び球磨郡球磨村)
令和 3 年 2 月 9 日	令和 2 年 7 月豪雨災害における功績により、消防庁長官から賞状を受ける。
令和 3 年 3 月 10 日	消防ポンプ自動車 1 台更新

令和 3 年 3 月 11 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
令和 3 年 3 月 18 日	指令広報車 1 台、積載車 1 台更新
令和 3 年 3 月	萩市国土強靱化地域計画策定
令和 3 年 4 月 1 日	新規消防職員 2 名を採用し、現有職員 91 名となる。
令和 4 年 1 月 12 日	消防ポンプ自動車（CD－1 型）1 台更新
令和 4 年 3 月 11 日	高規格救急自動車 1 台及び救急資器材を更新
令和 4 年 4 月 1 日	萩市消防本部の機構改革により、萩市消防署を 8 小隊とし、本署及び各署所に 1 小隊及び 2 小隊を配置する。 新規消防職員 4 名を採用し、現有職員 93 名となる。
令和 5 年 3 月 23 日	小型動力ポンプ付積載車 1 台更新
令和 5 年 3 月 24 日	化学消防ポンプ車（I 型）1 台更新
令和 5 年 4 月 1 日	新規採用消防職員 2 名を採用、現有職員 94 名となる。 消防職員条例定数を 103 名とする。

<歴代消防長>

●萩市消防本部（旧萩市）

	氏名	就任期間	備考
	助役等兼務		
	柴田 敏夫	昭和 32 年～	専任の消防長を配置
	桐山慶二郎	昭和 36 年～	
	槌田 富祐	昭和 40 年～	
	池田 修亮	昭和 45 年～	
	山本 正治	昭和 47 年 11 月 1 日～昭和 52 年 11 月 31 日	
	山根 文二	昭和 52 年 11 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日	
	村岡 明	昭和 55 年 4 月 1 日～平成 元年 3 月 31 日	
	田坂 利人	平成 元年 4 月 1 日～平成 4 年 3 月 31 日	
	新山 幹夫	平成 4 年 4 月 1 日～平成 5 年 3 月 31 日	
	松浦 芳晴	平成 5 年 4 月 1 日～平成 6 年 3 月 31 日	
	森脇 智一	平成 6 年 4 月 1 日～平成 7 年 3 月 31 日	
	坪井 淑郎	平成 7 年 4 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日	
	長岡 洋児	平成 10 年 4 月 1 日～平成 12 年 3 月 31 日	

●萩地区広域市町村圏組合消防本部

	氏名	就任期間	備考
初代	長岡 洋児	平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日	前・萩市消防長
2 代	山下 富雄	平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日	前・消防次長兼警防課長兼消防署長
3 代	波多野一郎	平成 14 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日	前・萩市議会事務局長
4 代	山根 道生	平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 6 日	前・萩市総務部長

●萩市消防本部（合併後）

	氏名	就任期間	備考
初代	山根 道生	平成17年 3 月 7 日～平成17年 5 月 9 日	前・萩広域組合消防長
2代	大崎 弘美	平成17年 5 月10日～平成19年 3 月31日	前・商工観光部長
3代	中屋 健司	平成19年 4 月 1 日～平成21年 3 月31日	前・消防署長
4代	米原 祥三	平成21年 4 月 1 日～平成22年 3 月31日	前・議会事務局長
5代	杉山 龍二	平成22年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	前・市民部次長
6代	松浦 俊生	平成23年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日	前・消防署長
7代	松原 純二	平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日	前・消防本部理事
8代	中原 滝雄	平成26年 4 月 1 日～平成28年 3 月31日	前・市民部長
9代	寺川 清美	平成28年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日	前・消防署長
10代	野原 和正	平成30年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月31日	前・警防課長
11代	鶴屋 弘	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月31日	前・消防次長
12代	阿武 均	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月31日	前・消防次長
13代	磯部 誠	令和 5 年 4 月 1 日～	前・消防次長

<歴代消防団長>

●萩市消防団（旧萩市）

	氏名	就任期間	備考
初代	吉賀 要作	昭和22年～昭和29年	
2代	岡崎 寿義	昭和29年～昭和32年	
3代	田中 虎熊	昭和32年～昭和61年	
4代	伊藤 正二	昭和61年～平成4年6月30日	
5代	金子 利蔵	平成 4 年 7 月 1 日～平成13年11月30日	
6代	中村 誠	平成13年12月 1 日～平成17年 3 月 6 日	

●萩市消防団（合併後）

	氏名	就任期間	備考
初代	中村 誠	平成17年 3 月 7 日～平成17年 7 月31日	
2代	林 安繁	平成17年 8 月 1 日～平成23年11月30日	
3代	山根 勝美	平成23年12月 1 日～平成31年 3 月31日	
4代	原田 明	平成31年 4 月 1 日～	

3 総 務 関 係

<消防本部・消防署の現況>



萩市消防本部・萩市消防署

TEL 0838-25-2772

FAX 0838-26-3945

所在地 萩市大字江向428番地2

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

建築面積 1390.81 m²

延床面積 2031.06 m²

敷地面積 3754.87 m²

建築年月日 平成11年9月30日



萩市消防署訓練塔

所在地 萩市大字江向428番地2

建物構造 鉄筋コンクリート造6階建

建築面積 48.00 m²

延床面積 288.00 m²

建築年月日 平成11年9月30日



萩市消防署弥富出張所

TEL 08387-8-5119

FAX 08387-8-5120

所在地 萩市大字弥富上1505番地1

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 365.18 m²

延床面積 359.76 m²

敷地面積 2966.00 m²

建築年月日 平成13年3月15日

(平成15年一部増築)



萩市消防署紫福分遣所

TEL 0838-53-5119

FAX 0838-53-5120

所在地 萩市大字紫福3434番地1

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 272.16 m²

延床面積 255.75 m²

敷地面積 2148.19 m²

建築年月日 平成14年3月8日



萩市消防署佐々並分遣所

TEL 0838-56-0119

FAX 0838-56-0128

所在地 萩市大字佐々並2662番地6

建物構造 鉄骨造平屋建

建築面積 369.62 m²

延床面積 365.98 m²

敷地面積 1778.14 m²

建築年月日 平成19年3月16日

<萩市一般会計当初予算と消防費当初予算>

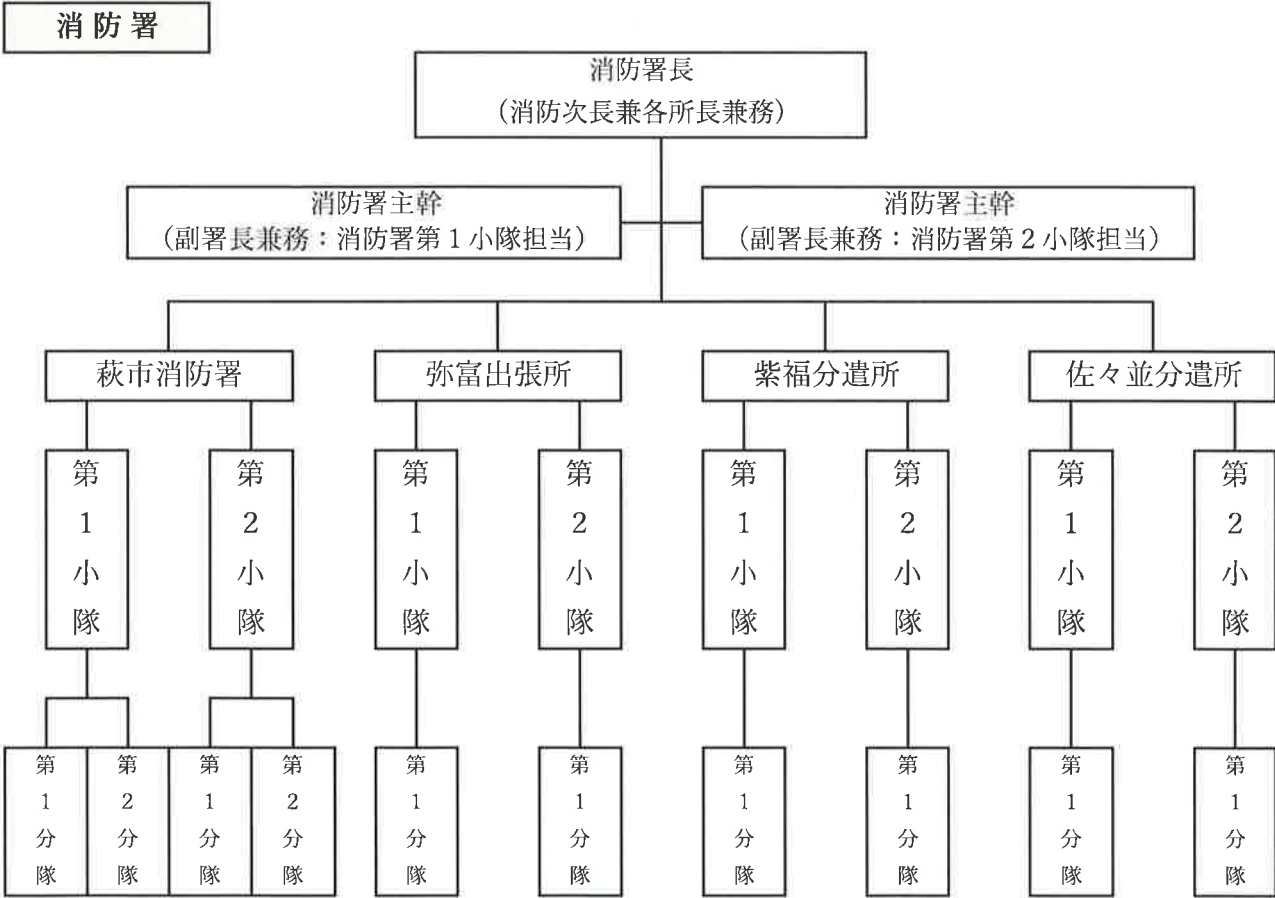
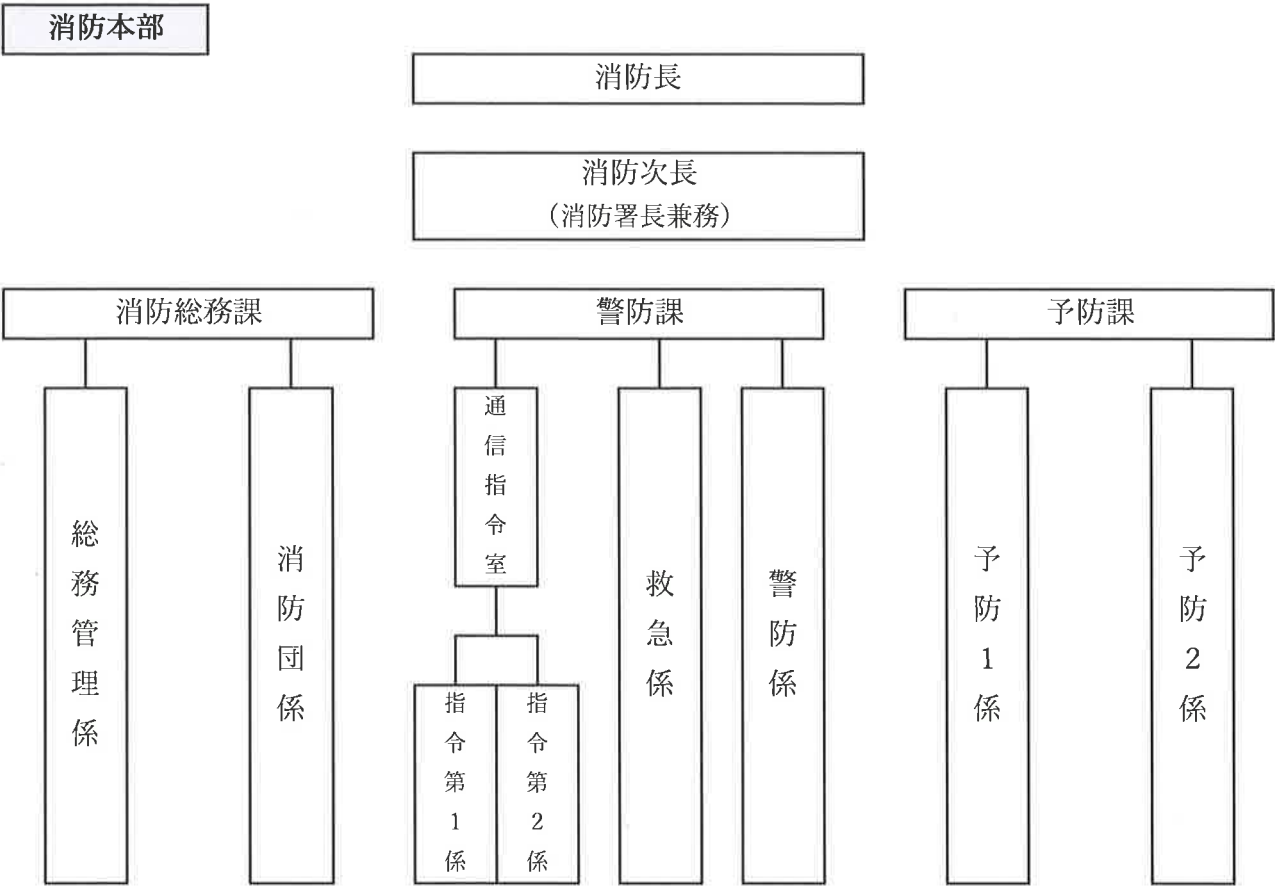
(単位：千円)

区分 年度	一般会計予算	消防費	内 訳			構成比 (%)
			常備消防費 + 災害救助費	非常備消防費	消防施設費	
令和4年度	29,880,000	1,270,571	775,880	176,433	318,258	4.25
令和3年度	29,880,000	1,209,140	764,507	180,097	264,536	4.05
令和2年度	29,380,000	1,221,645	769,120	191,027	261,498	4.16
令和元年度	29,270,000	1,127,781	766,114	192,049	169,618	3.85
平成30年度	30,140,000	1,052,090	744,652	188,863	118,575	3.49

注) 消防費予算内訳は総予算額から水防費、災害対策費を除いたもの。

<消防本部組織図>

令和5年4月1日現在



<消防職員の現況>

令和5年4月1日現在

定員	実員	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員
103	94	1	20	29	21	1	21	1

階級 区分		配置人数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員
消防本部	消防長	1	1						
	消防総務課	6 ●1名		2	1	2 ●1名			1
	警防課	12 ▽1名		5	3 ▽1名	2		2	
	予防課	6		3	1			2	
小計		25 ●1名 ▽1名	1	10	5 ▽1名	4 ●1名		4	1
消防署	萩署	33 ◇2名		5	10	10 ◇2名		8	
	弥富出張所	16		2	6	4		4	
	紫福分遣所	10 ■4名		2	5 ■1名	1 ■1名		2 ■2名	
	佐々並分遣所	10 ■4名		1	3	2 ■2名	1	3 ■2名	
小計		69 ◇2名 ■8名	0	10	24 ■1名	17 ◇2名 ■3名	1	17 ■4名	0
合計		94 ●1名 ▽1名 ◇2名 ■8名	1	20	29 ▽1名 ■1名	21 ●1名 ◇2名 ■3名	1	21 ■4名	1

備考 ●：消防航空隊に派遣、▽：市役所と併任、◇：本部と兼務、■：萩署と兼務

4 警 防 関 係

<現有消防車両等>

●萩市消防本部・萩市消防署

令和5年4月1日現在

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 指 令 1	指 揮 指 令 車	三 菱	平成 30 年 12 月 7 日	
萩 指 令 2	指 令 広 報 車	スズキ	平成 29 年 2 月 16 日	
萩 指 令 3	指 令 広 報 車	マツダ	平成 28 年 3 月 10 日	
萩 指 令 4	指 令 広 報 車	日 産	令和 3 年 3 月 8 日	
萩 指 令 5	指 令 広 報 車	マツダ	平成 30 年 2 月 21 日	
萩 広 報 1	人 員 輸 送 車 広 報 車	トヨタ	平成 31 年 2 月 26 日	緊援隊登録
運 搬 車	資 機 材 運 搬 車	トヨタ	平成 15 年 8 月 20 日	
萩 タ ン ク 1	水 槽 付 ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	平成 26 年 2 月 17 日	A-2 級
萩 ポ ン プ 1	ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 3 年 2 月 25 日	A-2 級 緊援隊登録
萩 梯 子 1	3 5 m 級 は し ご 車	車 体：日野 機 装：モリタ	平成 21 年 11 月 10 日	
萩 化 学 1	化 学 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 5 年 3 月 17 日	A-2 級 緊援隊登録
萩 救 助 1	救 助 工 作 車	車 体：日野 機 装：テイセン	平成 16 年 11 月 22 日	
萩 積 1	積 載 車	いすゞ	令和 5 年 3 月 9 日	
萩 救 急 1	高 規 格 救 急 車	トヨタ	令和元年 12 月 16 日	
萩 救 急 2	高 規 格 救 急 車	日 産	平成 27 年 2 月 26 日	
萩 救 急 3	高 規 格 救 急 車	トヨタ	平成 29 年 12 月 14 日	
救 命 ボ ー ト	救 難 ・ 監 視 船	船 体：アキレス 船外機：ヤマハ	平成 30 年 3 月 20 日	

●萩市消防署弥富出張所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 ポ ン プ 2	ポ ン プ 車	車 体：日野 ポンプ：日本機械工業	令和 3 年 12 月 23 日	A-2 級
萩 積 2	積 載 車	日 産	令和 3 年 3 月 5 日	
萩 救 急 4	高 規 格 救 急 車	トヨタ	令和 4 年 3 月 3 日	緊援隊登録

●萩市消防署紫福分遣所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 救 急 5	高規格救急車	トヨタ	平成 28 年 3 月 1 日	

●萩市消防署佐々並分遣所

車 両 名 称	用途等	メーカー	登録年月日	備考
萩 救 急 6	高規格救急車	日 産	令和 3 年 2 月 25 日	緊援隊登録

< 消防水利 >

令和 5 年 4 月 1 日現在

水利 地域		消火栓		防火水槽（基）								受水槽
		公設	私設	20～40 ㎡		40～60 ㎡		60～100 ㎡		100 ㎡以上		
				公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	
萩市	萩	798	58	3		99	17	5	1	2		17
	川 上		4	6		28	2	1				1
	田万川	89		9		42	1		1			
	むつみ	128		1		40						
	須 佐	58				42						
	旭	30		4		34		1				
	福 栄	57			1	59						1
阿武町		119		1		51						
合 計		1,279	62	24	1	395	20	7	2	2	0	19

5 火 災 関 係

<火災概要>

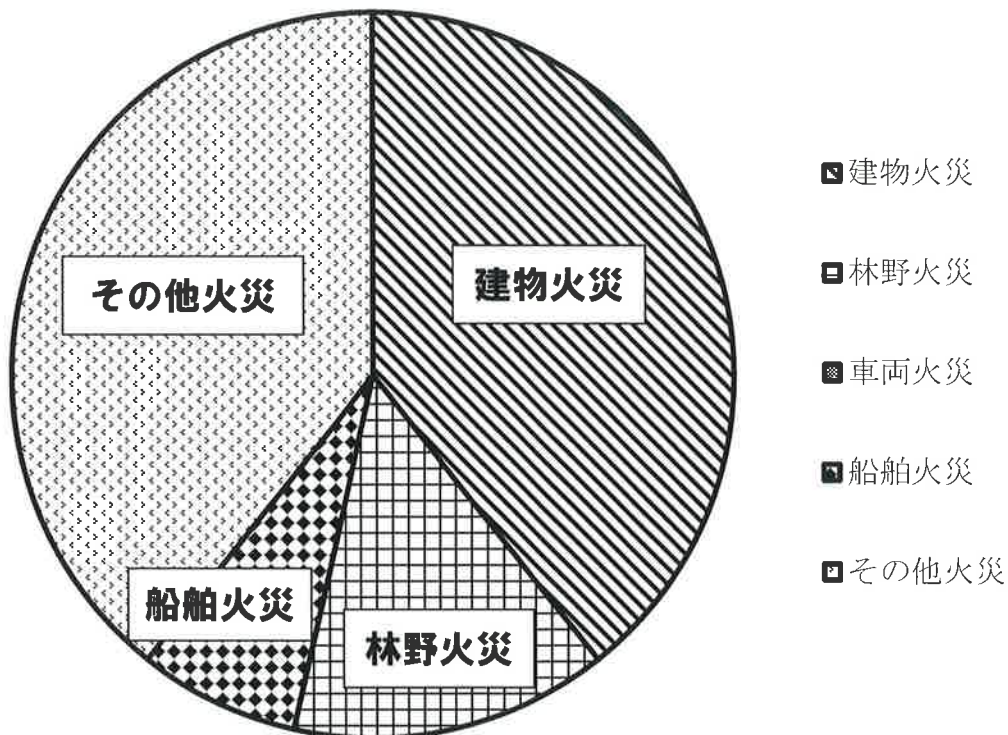
令和4年中の出火件数は28件（前年34件）で、月平均では2.3件の割合で火災が発生、火災種別ごとの件数は、建物火災が11件（前年16件）、林野火災が4件（前年7件）、車両火災が0件（前年0件）、船舶火災が2件（前年2件）、その他火災が11件（前年11件）となっている。損害額は53,278千円で、前年の115,269千円に比べると61,991千円の減となっている。主な出火原因は、火入れ（枯草焼き）が7件、たばこ、火のついたゴミ、放火の疑い、消し炭が2件ずつとなっている。過去5年の統計で見ると、出火原因は、火入れ（枯草焼き）によるものが特に多い。

<令和4年の火災発生状況>

●火災発生件数と損害額

区分	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他火災	合 計
火災発生件数	11	4	0	2	11	28

区分	建物損害	林野損害	車両損害	船舶損害	その他損害	合計
損害額 (千円)	41,567	0	0	11,600	111	53,278



●火災発生件数（月別）

（単位：件）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	種別 合計
建物	1	1	1	1			1		1		1	4	1 1
林野							1	1		1		1	4
車両													0
船舶	1										1		2
その他	1	1	2	1	1			1		4			1 1
月別 合計	3	2	3	2	1	0	2	2	1	5	2	5	2 8

●地域別火災発生件数

（単位：件）

	萩地域	川上地域	田万川地域	むつみ地域	須佐地域	旭地域	福栄地域	阿武町	種別 合計
建物	5	1			1		2	2	1 1
林野			1		2		1		4
車両									0
船舶	2								2
その他	4		1	2	1		2	1	1 1
地域別 合計	1 1	1	2	2	4	0	5	3	2 8

●建物焼損棟数（月別）

（単位：棟）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全焼	3	1					2					3	9
半焼	1												1
部分焼	1	1					1				1	1	5
ぼや	3	1	1	1			1		1			2	1 0
合計	8	3	1	1			4		1		1	6	2 5

●焼損面積（月別）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
床面積 (㎡)	296.07	232.82					292.19		0.18		8.29	326.58	1156.13
表面積 (㎡)	29.55	0.20	0.02				0.55					16.77	47.09
林野 (a)		0.25		1.00			0.86	2.865		1.157		1.54	7.672

●り災世帯・り災人員（月別）

（単位：世帯、人）

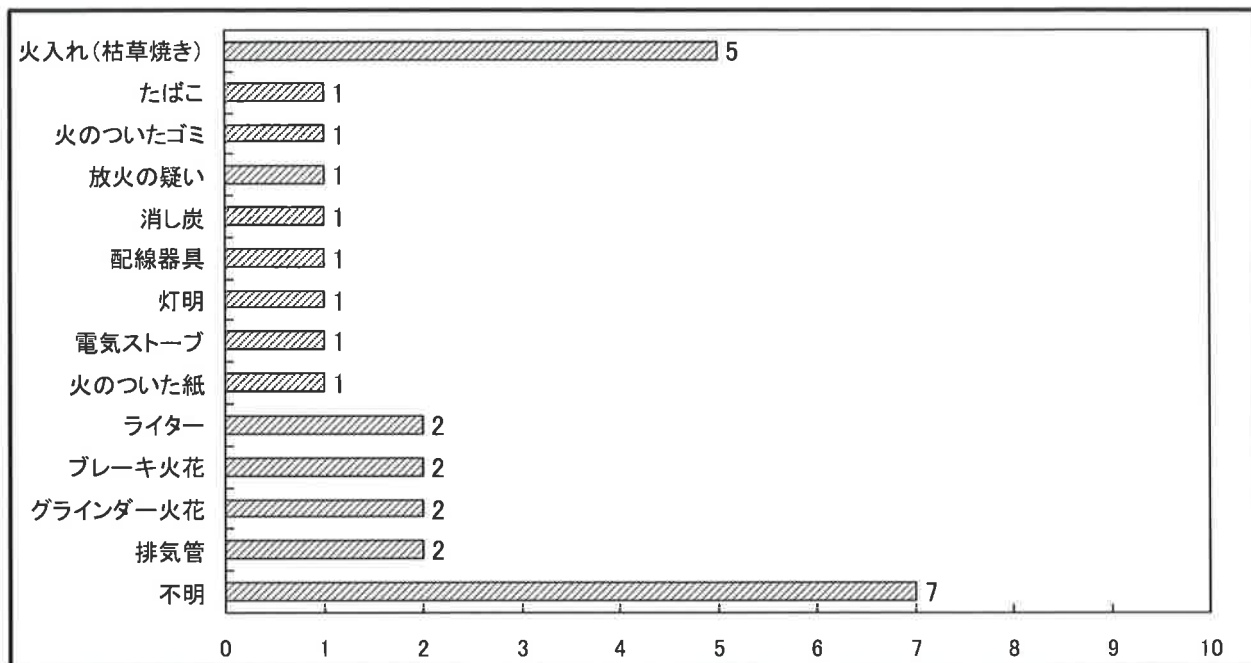
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
世帯	5	3					1				1	7	17
人員	8	5					1				2	17	33

●損害額（月別）

（単位：千円）

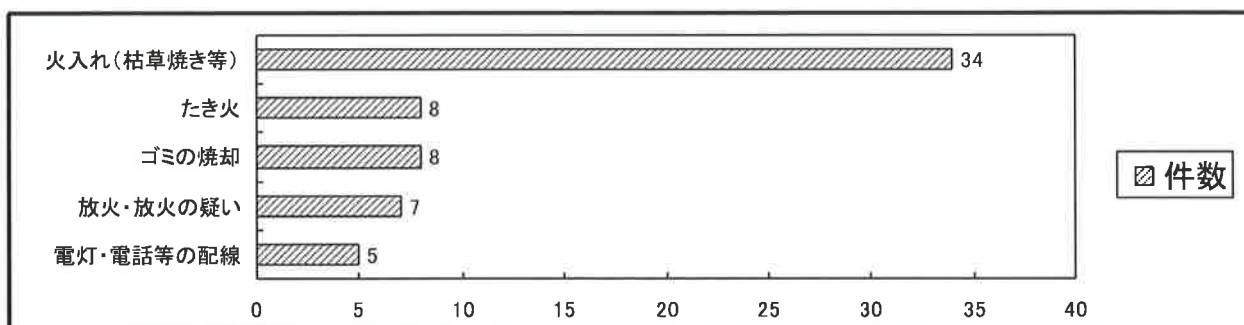
	建物			林野	車両	船舶	その他	月別 合計
	建物損害	内容物	小計					
1月	13,506	1,333	14,839			10,800		25,639
2月	11,488	659	12,147				100	12,247
3月	4	0	4				9	13
4月	0	16	16					16
5月								0
6月								0
7月	6,870	1,851	8,721					8,721
8月								0
9月	39	0	39					39
10月							2	2
11月	33	110	143			800		943
12月	5,299	359	5,658					5,658
合計	37,239	4,328	41,567	0	0	11,600	111	53,278

●火災原因別出火件数



●過去5年の主な出火原因別出火件数

(平成30年～令和4年)



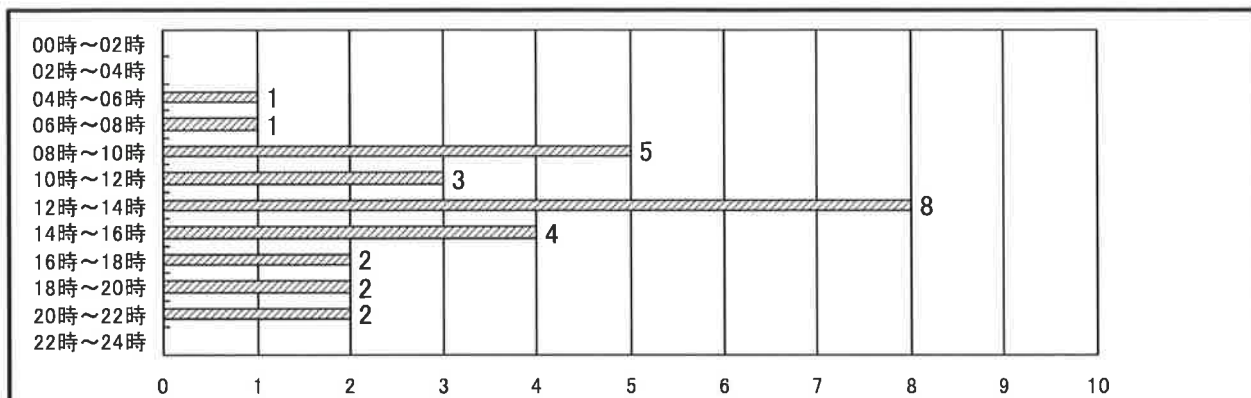
●過去5年の火災状況

(平成30年～令和4年)

火災件数	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比増減
	30	30	26	34	28	▼6
建物火災	9	10	15	16	11	▼5
林野火災	4	3	1	7	4	▼3
車両火災	1	1	3	0	0	0
船舶火災	2	0	0	0	2	2
その他火災	14	16	7	11	11	0
損害額(千円)	62,208	49,481	74,641	115,269	53,278	▼61,991
建築焼損床面積(m ²)	1,649	723	1,756	1,293	1,155	▼138
建築焼損表面積(m ²)	17	9	71	143	47	▼96
林野焼損面積(a)	8	18	5	19	8	▼11
焼損棟数	23	16	27	27	25	▼2
罹災世帯	10	14	11	16	17	1
罹災人員	22	29	23	32	33	1
火災による死者	3	2	1	2	1	▼1
火災による負傷者	3	5	4	3	4	1

●時間別火災発生件数

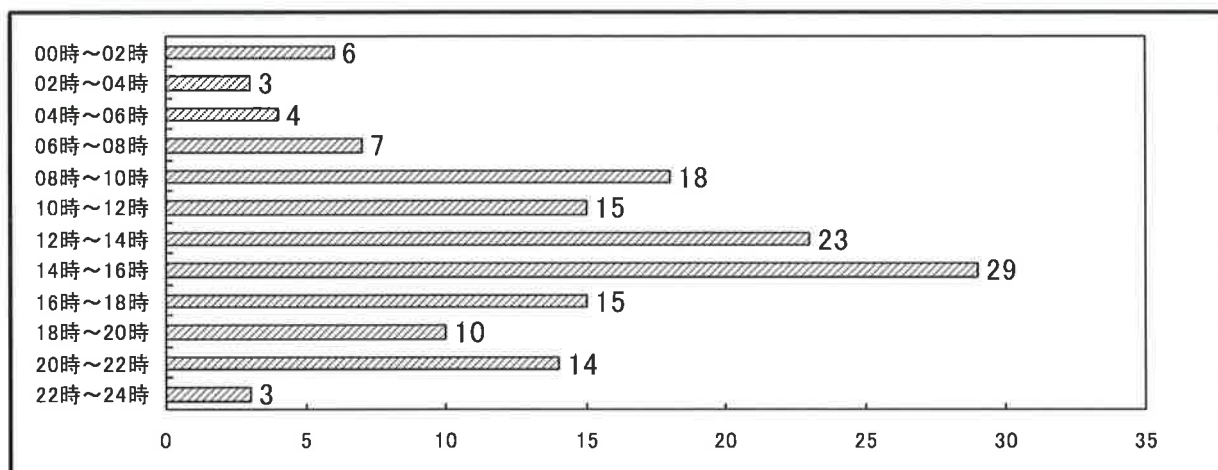
(単位：件)



●過去5年の時間別火災発生件数

(平成30年～令和4年)

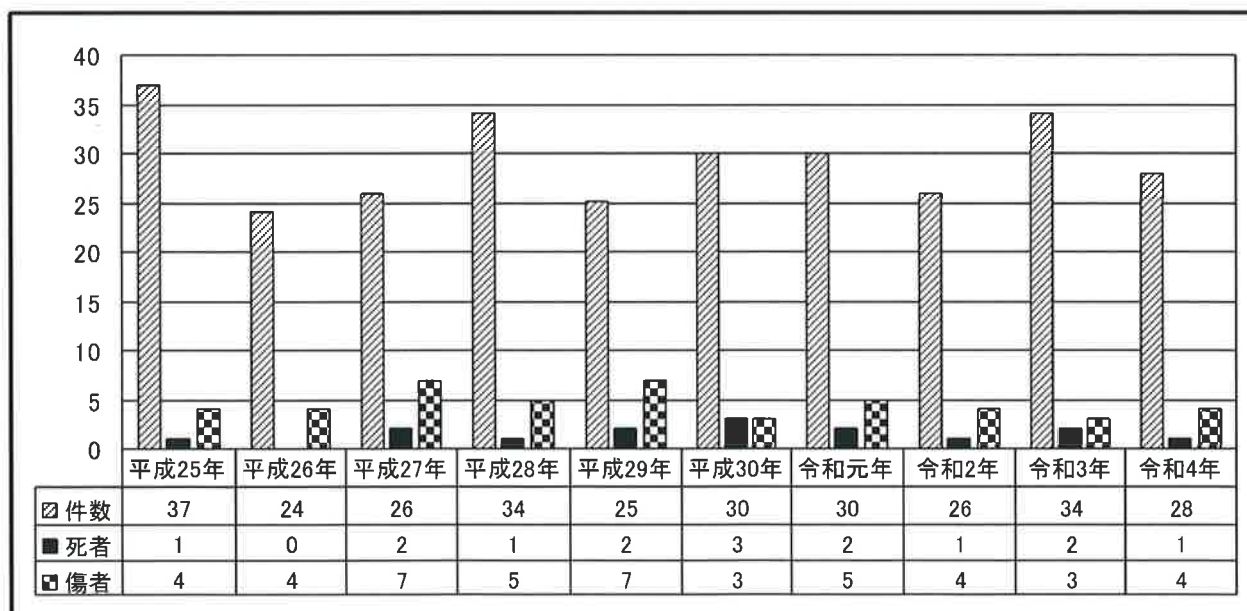
(単位：件)



●過去10年の火災件数と死傷者数

(平成25年～令和4年)

(単位：件、人)



6 救 急 関 係

<救急概要>

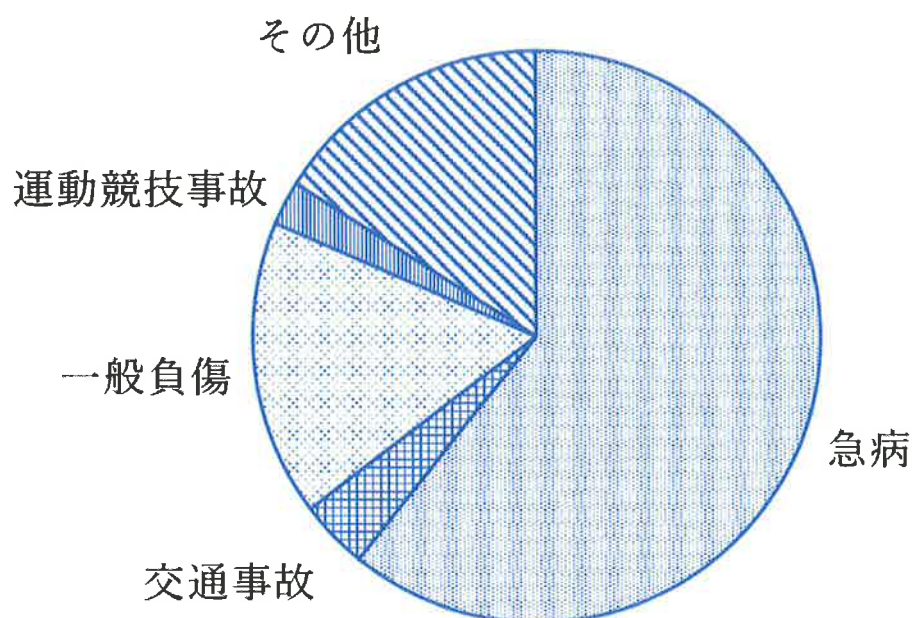
令和4年中の救急出動件数及び搬送人員は、それぞれ3,246件、3,088人で、令和3年の3,045件、2,893人に比べ、201件、195人の増加となっています。

事故種別ごとの出動件数は、急病1,996件（前年1,851件）、交通事故142件（前年119件）、一般負傷506件（前年511件）、その他（転院搬送等）545件（前年488件）となっており、この4種で全体の約98%を占めています。

傷病程度別にみると、死亡63人（前年67人）、重症434人（前年477人）、中等症1,266人（前年1,162人）、軽症1,325人（前年1,187人）となっています。

令和3年中の搬送人員に占める高齢者（65歳以上）の割合は、約76%となっており、今後も高齢者の占める割合が増加すると考えられます。これからも、救急車の適正利用と応急手当の普及啓発を進めていくところです。

<救急出動件数と種別の割合>



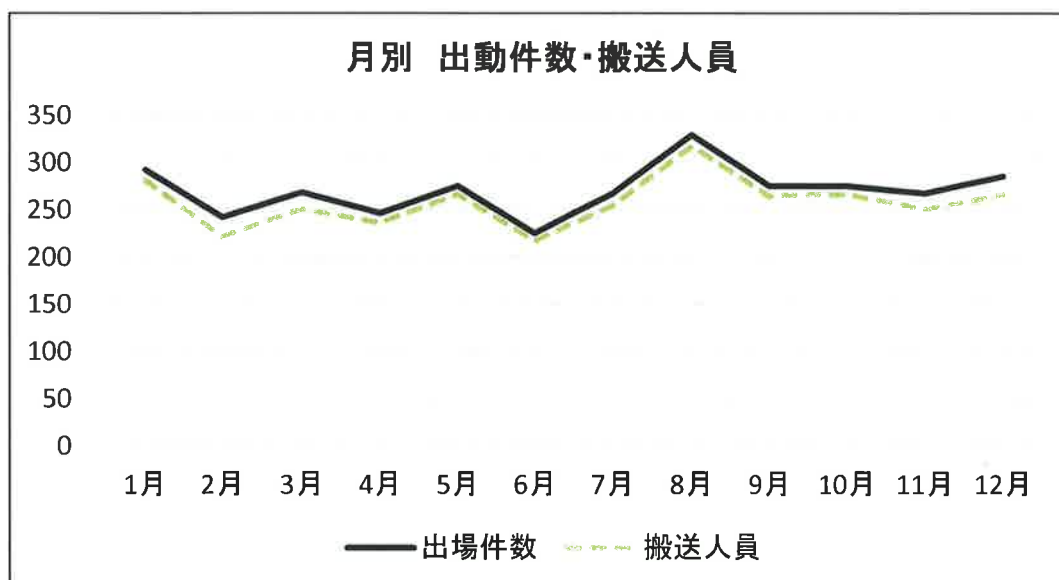
	急病	交通事故	一般負傷	運動競技事故等	その他	合計
出動件数	1,996	142	506	57	545	3,246
割合	61.5%	4.4%	15.8%	1.7%	16.8%	小数第2位四捨五入

※ 運動競技事故等とは、火災、自然災害、水難、労働災害、加害及び自損行為を含む。

<令和4年月別救急出動件数と搬送人員>

(単位：件、人)

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
自然災害	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	出動件数	0	0	1	1	2	0	2	0	2	0	0	0	8
	搬送人員	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	4
交 通	出動件数	13	14	8	12	14	11	8	14	12	9	18	9	142
	搬送人員	15	14	8	11	14	12	8	16	12	10	18	9	147
労働災害	出動件数	0	0	0	1	0	0	2	0	5	2	0	1	11
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	2	0	5	2	0	1	11
運動競技	出動件数	0	0	2	0	1	2	1	1	2	4	0	1	14
	搬送人員	0	0	2	0	1	2	1	1	2	5	0	1	15
一般負傷	出動件数	40	40	47	38	37	31	29	51	46	47	57	43	506
	搬送人員	38	38	46	37	36	30	28	51	45	45	50	38	482
加 害	出動件数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	6
	搬送人員	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	3	6
自損行為	出動件数	1	1	1	1	4	0	1	3	2	2	1	0	17
	搬送人員	1	0	0	1	2	0	0	2	1	2	1	0	10
急 病	出動件数	185	141	163	151	157	141	177	211	171	169	145	185	1,996
	搬送人員	176	127	152	147	154	133	171	201	165	161	136	171	1,894
転院搬送	出動件数	51	43	41	38	58	40	41	45	33	41	42	42	515
	搬送人員	51	43	41	38	58	40	41	46	34	41	42	42	517
その他	出動件数	2	3	5	4	1	0	5	4	2	1	2	1	30
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	出動件数	292	242	268	246	275	225	267	329	275	275	267	285	3,246
	搬送人員	281	222	250	236	266	217	254	317	264	266	250	265	3,088



<令和4年地域別救急状況>

(単位：件、人)

事故種別 地域別		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他	合計
萩 地域	出動件数	0	0	4	99	6	13	333	3	9	1,335	470	17	2,289
	搬送人員	0	0	2	102	6	14	319	3	9	1,263	472	0	2,190
川上 地域	出動件数	1	0	0	0	2	1	13	0	0	40	1	2	60
	搬送人員	2	0	0	0	2	1	13	0	0	36	1	0	55
田万川 地域	出動件数	0	0	0	2	0	0	35	0	2	166	1	1	207
	搬送人員	0	0	0	2	0	0	31	0	1	164	1	0	199
むつみ 地域	出動件数	0	0	0	5	1	0	22	0	1	51	9	1	90
	搬送人員	0	0	0	5	1	0	21	0	0	46	9	0	82
須佐 地域	出動件数	0	0	2	5	0	0	25	2	2	137	16	3	192
	搬送人員	0	0	0	5	0	0	21	2	0	128	16	0	172
旭 地域	出動件数	0	0	0	16	0	0	19	0	2	61	1	0	99
	搬送人員	0	0	0	19	0	0	18	0	0	61	1	0	99
福栄 地域	出動件数	0	0	0	4	2	0	22	1	1	69	1	5	105
	搬送人員	0	0	0	4	2	0	23	1	0	66	1	0	97
阿武町	出動件数	0	0	2	11	0	0	37	0	0	137	16	0	203
	搬送人員	0	0	2	10	0	0	36	0	0	130	16	0	194
その他 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	出動件数	1	0	8	142	11	14	506	6	17	1,996	515	29	3,245
	搬送人員	2	0	4	147	11	15	482	6	10	1,894	517	0	3,088

<令和4年傷病程度別搬送人員>

(単位：人)

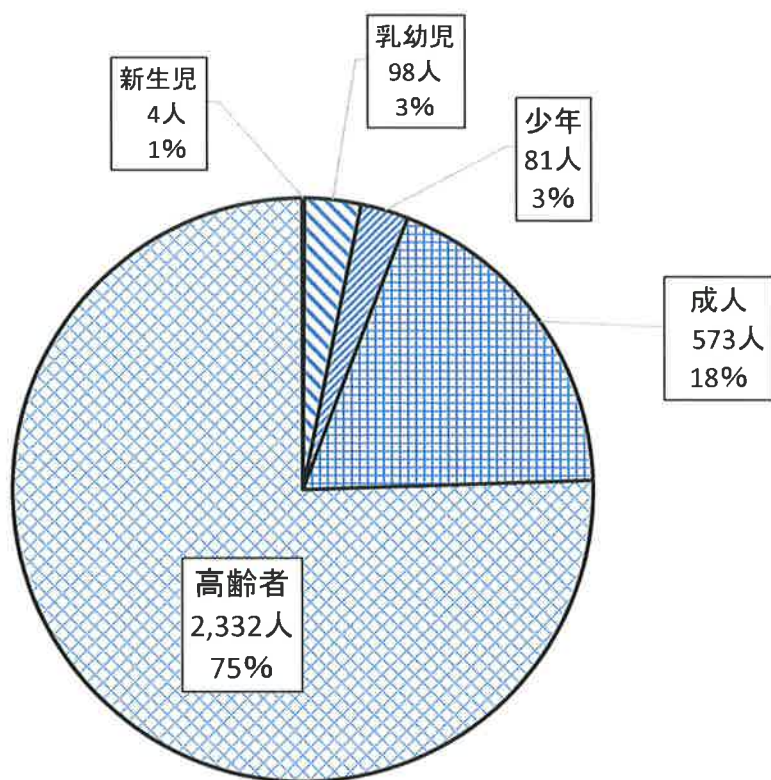
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
火 災	0	0	0	2	0	2
自然災害	0	0	0	0	0	0
水 難	0	0	1	3	0	4
交 通	1	13	26	107	0	147
労働災害	0	2	3	6	0	11
運動競技	0	1	3	11	0	15
一般負傷	10	60	144	268	0	482
加 害	0	0	1	5	0	6
自損行為	2	0	6	2	0	10
急 病	50	182	780	882	0	1,894
転院搬送	0	176	302	39	0	517
その他	0	0	0	0		0
合計	63	434	1,266	1,325	0	3,088

備考 死亡：初診時において死亡が確認されたもの、重症：3週間以上入院加療を必要とするもの
 中等症：重症または軽症以外のもの、軽症：入院加療を必要としないもの
 その他：いずれにも分類不能なもの。

<令和4年事故種別・年齢区分別搬送人員>

(単位：人)

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他	合計
新生児 生後28日未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4
乳幼児 生後28日以上 満7歳未満	0	0	0	1	0	0	20	0	0	64	13	0	98
少年 満7歳以上 満18歳未満	0	0	0	10	0	9	14	1	0	45	2	0	81
成人 満18歳以上 満65歳未満	0	0	3	70	7	6	50	2	7	345	83	0	573
高齢者 満65歳以上	2	0	1	66	4	0	398	3	3	1,439	416	0	2,332
合 計	2	0	4	147	11	15	482	6	10	1,894	517	0	3,088



<令和4年医療機関別搬送人員>

(単位：人)

救急告示医療機関					その他の医療機関					計				その他の場所	合 計
国立・公立	公 的	私的		計	国立・公立	公 的	私的		計	国立・公立	公 的	私的			
		病 院	診療 所				病 院	診療 所				病 院	診療 所		
1,203	383	1,475	0	3,061	0	0	7	20	27	1,203	383	1,482	20	0	3,088

<過去5年の管轄内・管轄外搬送状況>

(単位：人)

種別	搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
年別															
令和4年	管轄内	2,555	2	0	4	138	10	15	428	4	9	1,606	339	0	0
	管轄外	533	0	0	0	9	1	0	54	2	1	288	178	0	0
	計	3,088	2	0	4	147	11	15	482	6	10	1,894	517	0	0
令和3年	管轄内	2,466	2	0	11	106	20	11	432	4	9	1,551	318	0	0
	管轄外	427	1	0	0	9	2	0	56	0	0	221	138	0	0
	計	2,893	3	0	11	115	22	11	488	4	9	1,772	456	0	0
令和2年	管轄内	2,146	3	0	2	135	14	11	385	3	9	1,264	320	0	0
	管轄外	432	1	0	0	14	3	0	52	0	1	209	152	0	0
	計	2,578	4	0	2	149	17	11	437	3	10	1,473	472	0	0
令和元年	管轄内	2,462	4	0	6	129	14	13	396	2	11	1,493	394	0	0
	管轄外	485	0	0	1	18	4	1	56	0	0	229	176	0	0
	計	2,947	4	0	7	147	18	14	452	2	11	1,722	570	0	0
平成30年	管轄内	2,535	1	0	7	186	18	15	352	4	12	1,535	405	0	0
	管轄外	480	1	0	1	16	2	1	62	0	2	249	146	0	0
	計	3,015	2	0	8	202	20	16	414	4	14	1,784	551	0	0

<過去5年のドクターヘリ出動実績>

年	地域	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
萩地域	現場出動	3	1	1	0	3
	転院搬送	30	24	28	18	40
川上地域	現場出動	1	0	0	1	1
	転院搬送	0	0	0	0	0
田万川地域	現場出動	3	3	1	1	1
	転院搬送	0	0	0	0	0
むつみ地域	現場出動	1	2	1	0	1
	転院搬送	0	0	0	0	0
須佐地域	現場出動	1	1	2	0	1
	転院搬送	0	0	0	0	0
旭地域	現場出動	2	0	0	2	2
	転院搬送	0	0	0	0	0
福栄地域	現場出動	3	1	0	2	0
	転院搬送	0	0	0	0	0
阿武町	現場出動	3	1	2	1	1
	転院搬送	0	0	0	0	0
合計		47	33	35	25	50

<過去5年の救急状況>

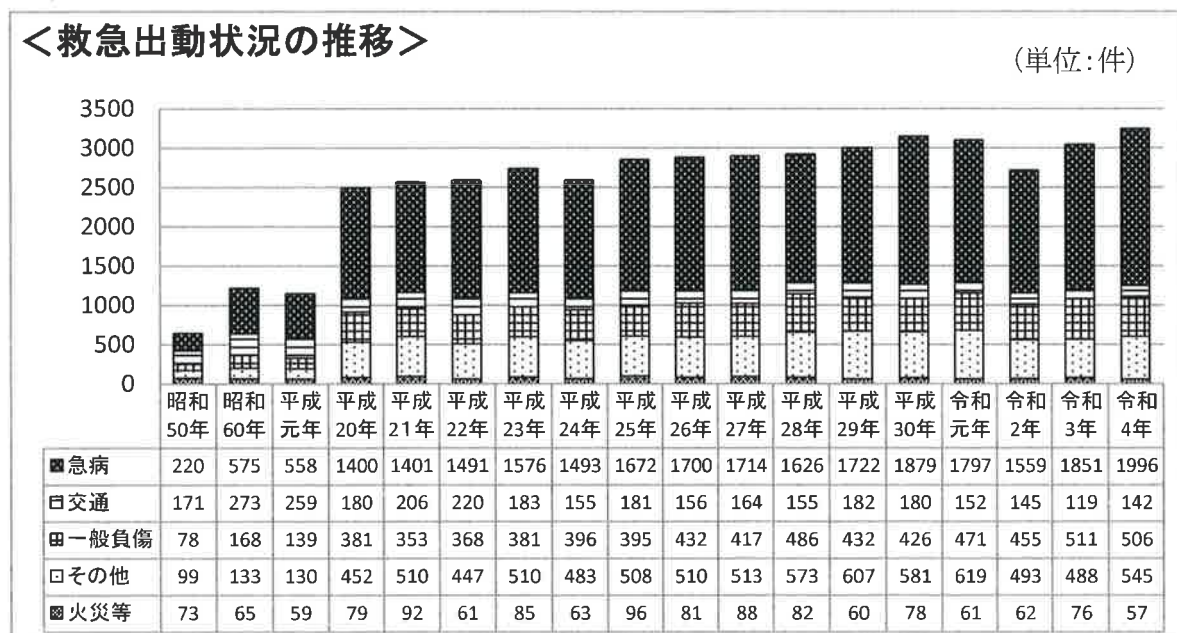
(平成30年～令和4年)

(単位：件、人)

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年比増減
出 動 件 数		3,144	3,100	2,714	3,045	3,246	201
事 故 種 別	火災	2	5	6	5	1	▲ 4
	自然災害	0	0	0	0	0	0
	水難	13	7	3	16	8	▲ 8
	交通	180	152	145	119	142	23
	労働災害	20	18	18	22	11	▲ 11
	運動競技	17	14	10	11	14	3
	一般負傷	426	471	456	511	506	▲ 5
	加害	4	4	4	5	6	1
	自損行為	22	13	21	17	17	0
	急病	1,879	1,797	1,558	1,851	1,996	145
	転院搬送	553	570	474	459	515	56
	その他	28	49	19	29	30	1
搬 送 件 数		2,983	2,932	2,563	2,886	3,069	183
不 搬 送 件 数		161	168	151	159	177	18
医 師 搬 送 件 数		1	1	0	0	0	0
器 具 搬 送 件 数		2	0	4	5	1	▲ 4
搬 送 人 員 数		3,015	2,947	2,578	2,893	3,088	195

<救急出動状況の推移>

(単位：件)



<心肺蘇生法及び普通救命講習等受講状況>

●心肺蘇生法（講習時間：1時間程度～3時間未満）

内容：心肺蘇生法の基本、講習に時間がとれない方が応急手当の方法を学ぶ

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和4年	45団体	49件	1,012名
令和3年	31団体	37件	896名
令和2年	33団体	68件	874名
令和元年	67団体	69件	2,168名
平成30年	58団体	61件	2,110名
過去5年間	234団体	284件	7,060名

●普通救命講習Ⅰ（講習時間：3時間）

内容：心肺蘇生法（成人）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法を学ぶ

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和4年	9団体	9件	90名
令和3年	12団体	14件	111名
令和2年	10団体	13件	207名
令和元年	16団体	19件	192名
平成30年	11団体	14件	198名
過去5年間	58団体	69件	798名

●普通救命講習Ⅱ（講習時間：4時間）

内容：心肺蘇生法（成人）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法を学ぶ

心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）、心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）を実施（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和4年	0団体	0件	0名
令和3年	1団体	3件	19名
令和2年	0団体	0件	0名
令和元年	3団体	4件	64名
平成30年	4団体	5件	56名
過去5年間	8団体	12件	139名

●普通救命講習Ⅲ（講習時間：3時間）

内容：心肺蘇生法（小児・乳児・新生児に対する方法）や異物除去の方法、AEDの実技・止血法を学ぶ（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和4年	2団体	2件	13名
令和3年	1団体	1件	4名
令和2年	1団体	1件	8名
令和元年	3団体	3件	23名
平成30年	1団体	1件	4名
過去5年間	8団体	8件	52名

●上級救命講習（講習時間：8時間）

内容：心肺蘇生法（成人・小児・乳児・新生児に対する方法・一人法・二人法）や異物除去の方法、AEDの実技、止血法、傷病者に対する保温や搬送の方法、包帯法、やけどの手当を学ぶ。心肺蘇生法に関する知識の確認（筆記試験）心肺蘇生法に関する実技の評価（実技試験）を実施（修了後に修了証を発行）

実施年	団体数	指導件数	受講者数
令和4年	0団体	0件	0名
令和3年	4団体	4件	12名
令和2年	1団体	1件	1名
令和元年	1団体	1件	1名
平成30年	3団体	3件	4名
過去5年間	9団体	9件	18名

7 救助関係

<救助概要>

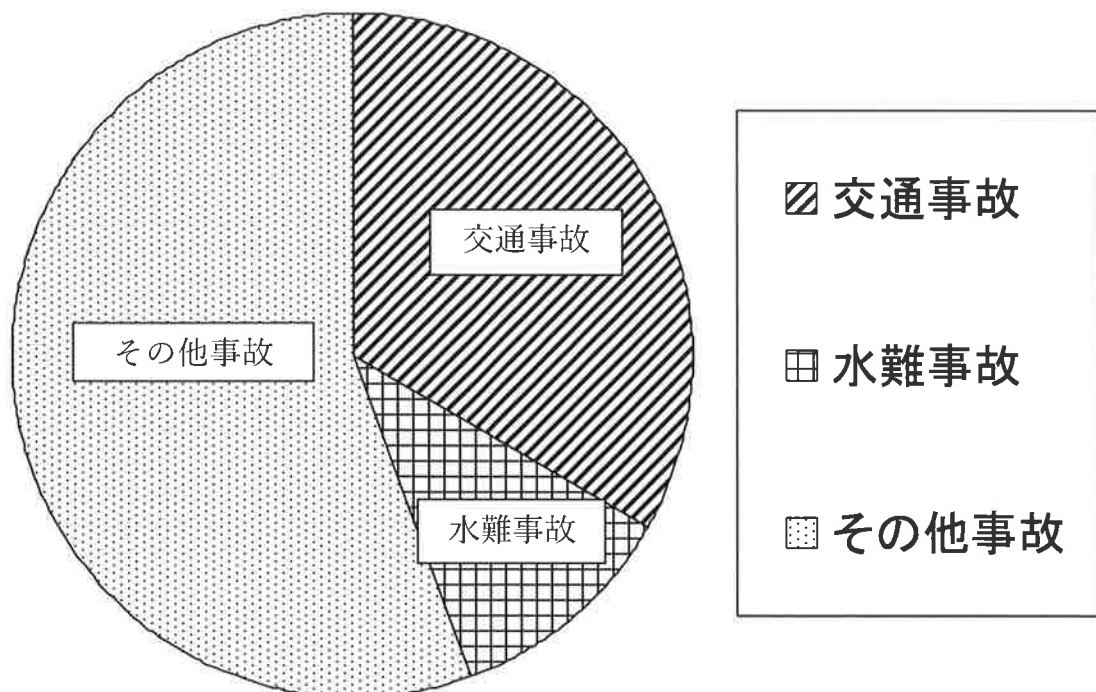
令和4年中の救助出動件数及び救助人員はそれぞれ18件・9人で、令和3年中の28件・22人に比べると、件数が10件減、救助人員が13人減少している。

事故種別ごとの件数は、交通事故6件（前年9件）、水難事故2件（前年10件）、その他の事故10件（前年6件）となる。

事故種別で救助件数をみると、例年のことながら、交通事故の割合が高いことに加え、高所からの転落や山中での負傷などの、その他の事故が増加している。水難事故は減少しているが、海岸沿いでの負傷（その他の事故に含まれる）など、水辺での事故は多く発生しているため、釣り場等での注意は必要である。

<令和4年救助出動件数>

種別 件数・割合	交通事故	水難事故	その他事故	合 計
出動件数	6	2	10	18
件数割合 (小数第2位四捨五入)	33.3%	11.1%	55.6%	



<令和4年地域別救助活動状況>

(単位：件、人)

地域別		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事 故	機械等 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物以外									
萩 地域	出動件数	0	0	2	2	0	0	0	0	0	3	7
	救助人員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
川上 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田万川 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
むつみ 地域	出動件数	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	4
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
須佐 地域	出動件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	救助人員	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
旭 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福栄 地域	出動件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
阿武町	出動件数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
	救助人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	出動件数	0	0	6	2	0	0	0	0	0	10	18
	搬送人員	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7	9

<過去5年の救助活動状況>

(平成30年～令和4年)

(単位：件、人)

地域別		火災		交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 事 故	機械等 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他 の事故	合計
		建物	建物以外									
令和4年	出動件数	0	0	6	2	0	0	0	0	0	10	18
	活動件数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7	9
	救助人員	0	0	1	1	0	0	0	0	0	7	9
令和3年	出動件数	0	0	9	10	0	0	3	0	0	6	28
	活動件数	0	0	6	7	0	0	3	0	0	6	22
	救助人員	0	0	7	7	0	0	2	0	0	6	22
令和2年	出動件数	0	0	15	1	0	1	0	1	0	9	27
	活動件数	0	0	7	0	0	0	0	1	0	4	12
	救助人員	0	0	8	0	0	0	0	1	0	4	13
令和元年	出動件数	0	0	14	4	0	0	0	0	0	14	32
	活動件数	0	0	4	2	0	0	0	0	0	6	12
	救助人員	0	0	5	2	0	0	0	0	0	6	13
平成30年	出動件数	0	0	26	7	0	1	0	0	0	13	47
	活動件数	0	0	13	4	0	1	0	0	0	10	28
	救助人員	0	0	20	4	0	1	0	0	0	10	35
合計	出動件数	0	0	70	24	0	2	3	1	0	52	152
	活動件数	0	0	31	14	0	1	3	1	0	33	83
	救助人員	0	0	41	14	0	1	2	1	0	33	92

＜救助活動用機械器具等の保有状況＞

区分	名称	数量
一般救助器具	かぎ付きはしご	3
	三連はしご	5
	金属製折りたたみはしご	2
	ワイヤはしご	1
	空気式救助マット	1
	救命索発射銃	3
	サバイバースリング	2
	救助用縛帯	5
	平坦架	1
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	2
	大型油圧スプレッダー	1
	可搬ウィンチ	6
	ワイヤーロープ	33
	マンホール救助器具	1
	マット型空気ジャッキ	2
	チェーンブロック	1
切断用器具	大型油圧切断器	2
	エンジンカッター	6
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	7
	鉄線カッター	7
	空気鋸	1
	空気切断機	1
器 破 壊 具 用	万能斧	17
	ハンマー	10
	削岩機	2
器 測 検 定 知 具 用 ・	可燃性ガス測定器	6
	有毒ガス測定器	1
	放射線測定器	16
検 用 山 索 器 具 救 助 具 ・	バスケット担架	5
	簡易画像探査機	1

区分	名称	数量
呼吸保護用器具	空気呼吸器	40
	空気ボンベ	73
	酸素呼吸器	4
	簡易呼吸器	2
	防塵マスク	20
	送排風機	2
隊員保護用器具	耐電手袋	26
	安全帯	19
	防塵メガネ	23
	携帯警報器	17
	防毒マスク	26
	陽圧式化学防護服	4
	耐熱服	6
水難救助用器具	耐電衣	2
	耐電長靴	18
	潜水器具一式	8
	救命胴衣	60
	水中ライト	9
	救命浮環	16
その他の救助用器具	浮標	1
	救命ボート	4
	船外機	1
	投光器	16
	電池式サーチライト	34
	携帯拡声器	10
その他の救助用器具	携帯無線機	24
	応急処置セット	2
	車両移動器具	1
	その他の携帯救助工具	3
	緩降機	2
	発電機	16

8 予 防 関 係

＜防火対象物数（消防法第17条第1項該当）及び査察実施状況＞

令和5年4月1日現在

市町別 令別表項目別			防火対象物数（法第17条第1項該当）			査察実施件数		
			萩市	阿武町	計	萩市	阿武町	計
1	イ	劇場・映画館	2	0	2	2	0	2
	ロ	公会堂・集会場	17	4	21	16	4	20
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	0	5	3	0	3
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケ店等	0	0	0	0	0	0
3	イ	料理店等	2	0	2	0	0	0
	ロ	飲食店	94	2	96	2	0	2
4		百貨店・店舗等	82	4	86	17	0	17
5	イ	旅館・ホテル	128	4	132	32	0	32
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	330	3	333	2	0	2
6	イ	病院・診療所等	40	2	42	5	0	5
	ロ	老人短期入所施設等	22	4	26	17	4	21
	ハ	老人デイサービスセンター等	75	5	80	40	1	41
	ニ	幼稚園・盲学校等	4	0	4	4	0	4
7		小・中・高等学校等	93	15	108	46	0	46
8		図書館・博物館等	12	0	12	4	0	4
9	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	3	0	3	1	0	1
10		車両の停車場等	3	0	3	1	0	1
11		神社・寺院・教会等	83	7	90	0	0	0
12	イ	工場・作業場	235	15	250	75	0	75
	ロ	スタジオ	3	0	3	0	0	0
13	イ	自動車車庫・駐車場	16	1	17	5	0	5
	ロ	格納庫	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	161	7	168	124	0	124
15		事務所等	311	18	329	112	0	112
16	イ	複合用途（特定用途を含む）	174	11	185	29	1	30
	ロ	複合用途（特定用途を含まない）	83	3	86	14	0	14
17		重要文化財	56	0	56	0	0	0
18		アーケード	1	0	1	1	0	1
合 計			2035	105	2140	552	10	562

<中高層建築物（４階以上）>

令和5年4月1日現在

市町別建物階数 令別表別項目			4 階		5 階		6 階		7 階		8 階		9 階		10 階		計
			萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	萩市	阿武町	
1	イ	劇場・映画館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2	イ	キャバレー等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	性風俗関連店舗等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケ店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	イ	料理店等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		百貨店・店舗等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	イ	旅館・ホテル	7	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	11
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	40	0	4	0	1	0	0	0	1	0	2	0	1	0	49
6	イ	病院・診療所等	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	ロ	老人短期入所施設等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	老人デイサービスセンター等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	幼稚園・盲学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7		小・中・高等学校等	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
8		図書館・博物館等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	一般の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業場	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	ロ	スタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車庫・駐車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		事務所等	7	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
16	イ	複合用途（特定用途を含む）	9	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	14
	ロ	複合用途（特定用途を含まない）	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	7
17		重要文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			80	0	12	0	2	0	2	0	4	0	3	0	2	0	105

<講習会等実施状況>

(令和4年度)

内 容	実施回数	参加者数
防 火 講 習 会	0	0
甲 種 防 火 管 理 講 習 会	1	41
甲 種 防 火 管 理 再 講 習 会	1	7

<危険物規制対象物>

令和5年4月1日現在

製造所等 市町	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売 一 種 二 種	一 般	
萩 市	0	25	36	9	49	2	14	1	45	1	24	206
阿武町	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	7
計	0	27	37	10	49	2	14	1	48	1	24	213

<危険物製造所等の事務処理状況>

(令和4年度)

製造所等 事務内訳		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売 一 種 二 種	一 般	
許可	設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	5	0	2	0	3	0	6	0	2	18
完成 検査	設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	変更	0	0	3	0	2	0	3	0	6	0	2	16
仮使用		0	0	1	0	2	0	0	0	5	0	3	11
廃止届		0	4	0	0	0	0	4	1	0	0	0	9
仮	貯蔵												0
	取扱												4

<危険物製造所等立入検査状況>

(令和4年度)

製造所等 市町	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			合 計
		屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	販 売 一 種 二 種	一 般	
萩 市	0	29	36	9	49	2	17	2	45	1	24	214
阿武町	0	2	1	1	0	0	0	0	3	0	0	7
計	0	31	37	10	49	2	17	2	48	1	24	221

9 消防団関係

<萩市消防団組織表>

令和5年4月1日現在

団名	団長名	方面団名	分団名	人数	(女性団員)
萩市消防団	総括団長 原田 明	中央方面団長 (兼総括副団長) 吉村辰市	中央方面団本部	10名	
			明倫第1分団	21名	5名
			明倫第2分団	21名	1名
			明倫第3分団	17名	
			椿東第1分団	21名	
			椿東第2分団	13名	1名
			新川分団	16名	2名
			越ヶ浜分団	19名	
			椿分団	19名	1名
			山田第1分団	19名	2名
			山田第2分団	19名	
			木間分団	15名	1名
			三見第1分団	15名	
			三見第2分団	14名	1名
			三見第3分団	23名	
			大井第1分団	16名	
			大井第2分団	16名	1名
			大島分団	38名	
			相島分団	16名	
			見島分団	46名	
			小計	394名	15名
		川上方面団長 金子和夫	川上方面団本部	26名	7名
			川上第1分団	8名	
			川上第2分団	10名	
			川上第3分団	8名	
			小計	52名	7名
		田万川方面団長 石川 朗	田万川方面団本部	15名	
			田万川第1分団	15名	
			田万川第2分団	17名	
			田万川第3分団	10名	
			田万川第4分団	16名	
			田万川第5分団	16名	
			田万川第6分団	12名	
			田万川第7分団	15名	
			田万川第8分団	11名	11名
			小計	127名	11名
		むつみ方面団長 高橋正演	むつみ方面団本部	18名	
			むつみ第1分団	17名	
			むつみ第2分団	19名	
			むつみ第3分団	14名	
			むつみ第4分団	13名	
			むつみ第5分団	9名	9名
			小計	90名	9名

団 名	団 長 名	方 面 団 名	分 団 名	人数	(女性団員)
萩市消防団	総括団長 原田 明	須佐方面団長 井原弘志	須佐方面団本部	3名	
			須佐第1分団	14名	
			須佐第2分団	19名	
			須佐第3分団	14名	
			須佐第4分団	14名	
			須佐第5分団	12名	
			須佐第6分団	9名	
			須佐第7分団	12名	
			須佐第8分団	10名	10名
			小計	107名	10名
		旭方面団長 三浦真秀	旭方面団本部	3名	
			佐々並第1分団	14名	
			佐々並第2分団	13名	
			佐々並第3分団	11名	
			佐々並第4分団	10名	10名
			佐々並自動車分団	18名	
			明木第1分団	9名	
			明木第2分団	14名	
			明木第3分団	15名	
			明木第4分団	10名	10名
			明木自動車分団	11名	
			小計	128名	20名
		福栄方面団長 佐伯靖史	福栄方面団本部	21名	
			福栄第1分団	21名	
			福栄第2分団	22名	
			福栄第3分団	12名	
			福栄第4分団	17名	
			福栄第5分団	12名	12名
			小計	105名	12名
合 計				1,004名	84名

<消防団の概要>

令和5年4月1日現在

条例定数 (人)	方面 団数	分団数	実員数 (女性)	水槽付消 防自動車	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ付 軽積載車	小型動力 ポンプ	その他
1,244	7	58	1,004 (84)	1	25	22	19	27	2

分団別	分団数	団員数 (人)	(女性)	水槽付消 防自動車	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ付 軽積載車	小型動力 ポンプ	その他
中 央	19	395	15	1	12	4	11	10	1
川 上	3	52	7	0	1	0	3	6	0
田万川	8	127	11	0	2	5	1	0	0
むつみ	5	90	9	0	2	2	1	2	0
須 佐	8	107	10	0	3	4	1	5	1
旭	10	128	20	0	2	6	0	0	0
福 栄	5	105	12	0	3	1	2	4	0

●階級別団員数

令和5年4月1日現在

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
2	19	64	64	63	199	593	1,004

●団員の在職年数

令和5年4月1日現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
136	137	133	121	115	162	100	100	1,004

●年齢別団員数

令和5年4月1日現在

18歳 }	20歳 }	25歳 }	30歳 }	35歳 }	40歳 }	45歳 }	50歳 }	55歳 以上	団員数	平均 年齢
19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳	49歳	54歳		1,004	50.7
0	9	28	40	83	133	173	173	365		

●団員年報酬

(単位：円)

団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500

●団員出動報酬

(単位：円)

火災	水防	警戒・訓練等	その他
8,000	8,000	6,900	5,000

(※訓練等は、3時間未満の場合は3,450円)

<消防団活動状況>

(令和4年度)

火災		水防		訓練		その他		合計	
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
27	585	16	73	112	2,570	386	4,177	541	7,405

萩市防災メールのご案内

緊急情報を携帯・スマートフォンやパソコンにメールでお知らせします。

★全員に配信する情報

- ①気象警報
- ②防災情報
 - ・山口県日本海沿岸の高潮や津波の情報
 - ・山口県北部地方の地震情報（震度1以上）
 - ・国民保護（武力攻撃事態・緊急対処事態）の情報
 - ・河川や海岸の水防警報（はん濫注意水位・ダム放流）、避難情報（避難指示等）、
 - ・重要な行政情報、その他緊急情報

★希望者のみに配信する情報

- ③気象注意報
- ④萩市内及び阿武町の消防車出動情報（火災・救助）
- ⑤重大事故、災害、大雪による道路封鎖情報
- ⑥防犯（不審者情報・所在不明者情報を含む）や交通安全等の生活安全情報
- ⑦観光・イベント情報、公立の学校や保育園から地域へのお知らせ
- ⑧JR運休情報、萩海運の欠航、仙崎海上保安部の海上安全情報、感染症、幹線の除雪



↑ 防災メール登録 ↑ 配信された情報 ↑ 防災メール解除

あなたの携帯電話やパソコンに緊急情報いつでも24時間お知らせします。気象警報と市からの重要なお知らせ以外は、受信する情報を自由に選択できます。パケット通信用料や携帯電話等の維持費用は、個人でご負担ください。

●登録方法

最近の携帯電話は、パソコン等からのメールを迷惑メールとして受信拒否する設定になっています。必ず、事前に次の3種のドメインから送信されたURL付きメールを受信できるよう設定変更してから、登録作業を行ってください。ご自分で設定が出来ない方は、この案内を携帯電話に詳しい方や携帯電話販売店に見せて相談してください。登録後、配信不良が5回以上発生すると、登録は自動解除されます。受信設定を確認して再登録してください。

「x p r e s s m a i l . j p」 「c i t y . h a g i . l g . j p」 「l g . j p」

バーコードリーダーで案内右上部のQRコードを読んで、hagi@xpressmail.jp へ空メールを送信すると、登録・変更メールが届きます。返信メールのURLにアクセスして氏名入力、お住まいの地域、希望情報区分と必要な地域（自宅、職場、学校、通勤経路）を選択してください。

※全ての地域を選択すると必要のない地域の情報まで配信され、受信メールが増えるため、通信料が高額になる場合があります。

※消防団・官公庁の方と市職員は、お名前に所属と本名を入力してください。例「〇〇分団 萩野太郎」 ※市職員は職員番号も入力

問い合わせ：萩市総務部防災危機管理課 TEL：0838-25-3808 FAX 0838-21-3501 e-mail：bousai@cityu.hagi.lg.jp

令和 5 年 5 月 印刷・発行

編 集 萩市消防本部消防総務課

〒758-0041 萩市大字江向 428 番地 2

TEL : 0838-25-2780 FAX : 0838-26-3945

E-mail : hakisbsoumu@city.hagi.lg.jp

U R L : <http://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/24.html>